

(仮称) 防衛医科大学校新病院等 PFI 事業概要書

注：記載の内容は令和5年7月現在での検討内容であり、未確定の情報が含まれています。概要書の内容については、関係部署に留め、取り扱いにはご注意ください。

1. 背景

防衛医科大学校病院（防衛医大病院）は、特に中央診療施設において老朽化・陳腐化が進んでおり、今後、医療の複雑化・高度化への対応が困難となるおそれがあります。また、現在、病院施設が分散していることから、より効率的な病院運営が困難である等の課題があります。

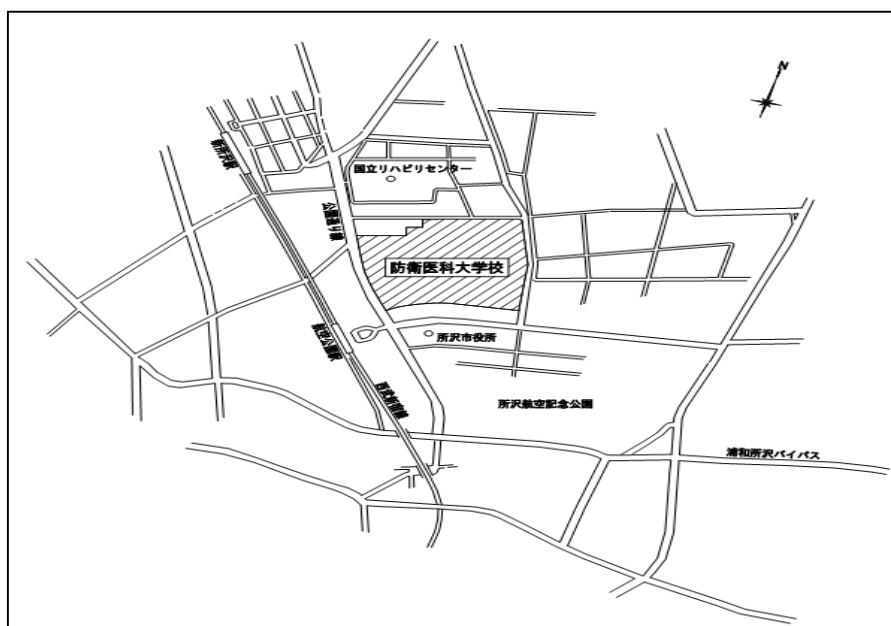
以上を踏まえ、高まる医療ニーズに適切に対応しつつ、効率的な病院運営を行うことができるよう、病院機能を集約化した新病院の建設を検討することとしました。また、同様に老朽化が著しい隣接する公務員住宅の建替えも検討をすることとしています。

2. 計画の概要

2.1 対象敷地

対象敷地は、西武新宿線の航空公園前駅から徒歩5分の敷地となります。

<対象敷地位置図>



<対象敷地の概要>

住所	埼玉県所沢市並木 3-2
敷地面積	病院地区：約 70,000 m ² 、宿舎地区：約 7,800 m ²
都市計画区域	都市計画区域内、市街化区域
用途地域	第2種住居地域
建ぺい率／容積率	60％／200％

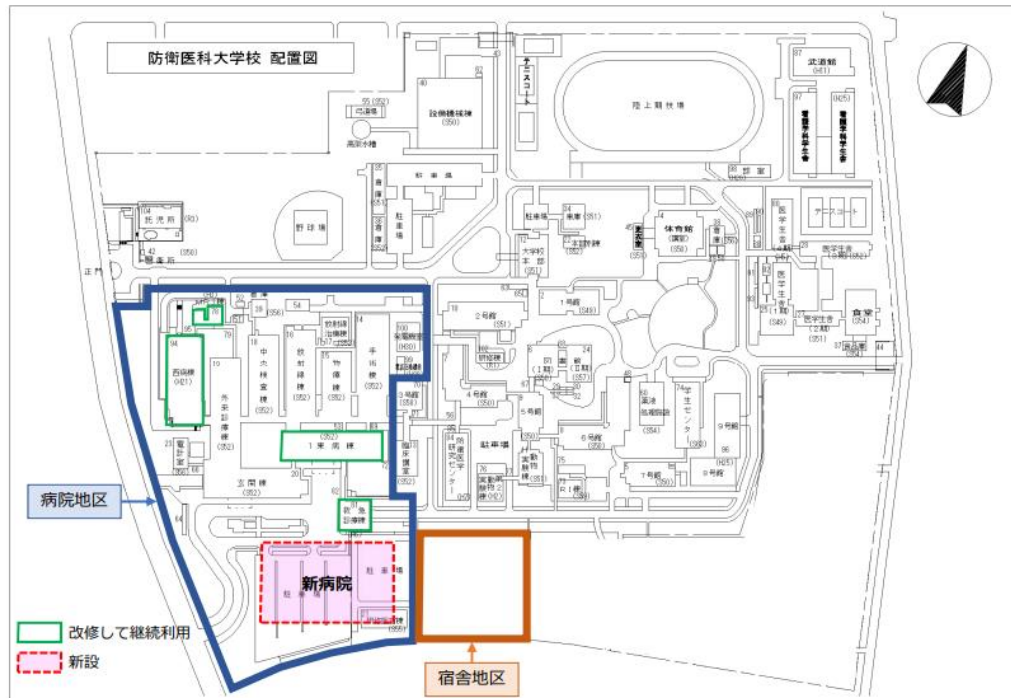
2.2 病院地区及び宿舎地区の配置等

病院地区及び宿舎地区における現在の各施設の配置は下図の通りです。

病院については、病院地区内（下図の青枠）に分散する老朽化した病院機能を集約し、新病院を整備（新設）します。整備場所は、現在の駐車場エリアを想定しています。なお、「西病棟、東病棟、救急診療棟、MRI棟（下図の緑枠）」は改修の上継続利用し、その他の病院地区内の施設は順次解体することを想定しています。

公務員住宅については、現在の宿舎地区内における現地建て替えを行います。解体時までに入居者がゼロとなるよう調整することで、入居者の移転支援等は不要となる見込みです。

<病院地区及び宿舎地区の配置等>



<本事業の対象>

整備施設	解体施設
新病院棟（新設）	研修医官棟
東病棟（改修）	中央診療施設（外来診療棟、玄関棟、中央検査棟、放射線棟、物療棟、放射線治療棟、手術棟）
西病棟（改修）	電算機室
救急診療棟（改修）	公務員住宅
MRI棟（改修）	
渡り廊下（新設）	
病院駐車場（新設）	
公務員住宅（新設）※別棟	
上記に関する民間収益施設	

3. 事業の概要

3.1 目的

防衛医大病院は、老朽化した中央診療施設の機能を維持しつつ分散する施設での病院運営を行っており、今後ますます高まる医療ニーズに応えるためには、より効率的な病院運営が求められています。併せて、厳しさを増す我が国の安全保障環境を踏まえ、優れた自衛隊医官・看護官等（自衛隊医官等）を養成する臨床教育の場とするため、病院建替えの機会を捉え、機能強化を図る必要があります。これらの現状を踏まえた施設整備計画の策定と、今後の効率的な病院運営が大きな課題となっています。

これらの課題の解決策として、本事業に対して PFI（Private Finance Initiative）を導入し、公共施設の建設、運営・維持管理等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することを検討しています。具体的には、民間のノウハウを活用した設計・施工・運営・維持管理を一括発注することによる効率化（例：性能発注に基づく民間ノウハウの活用による質の向上や経費削減／設計段階から運営、維持管理を念頭に置くことにより事業全体に「横串」を通し、病院全体を効率化／一括発注によって、従来の外部委託で業務間に生じていた「隙間」に対応）を期待します。

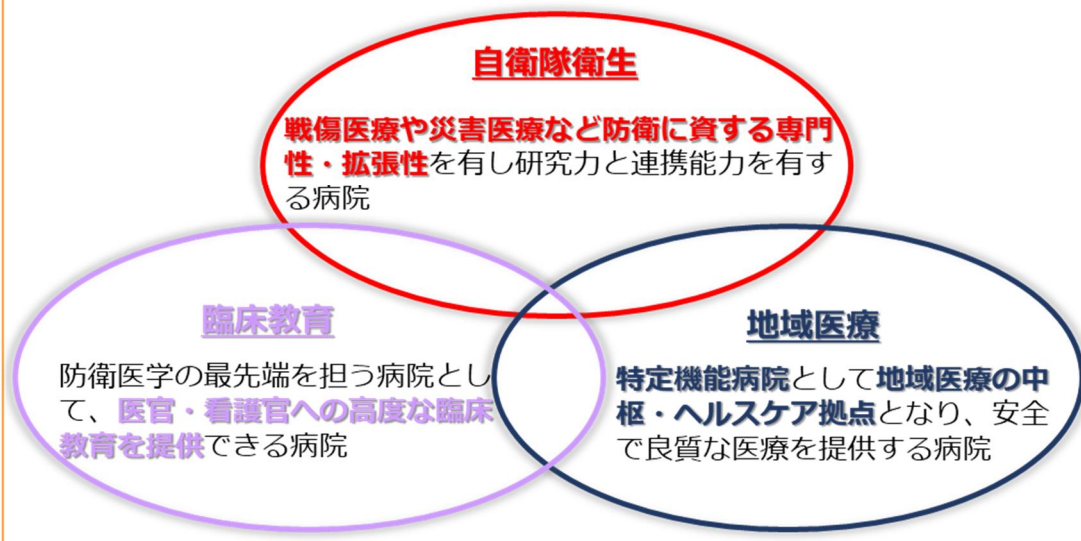
防衛医大病院の理念及び将来像は、次ページの通りです。

防衛医大病院の理念

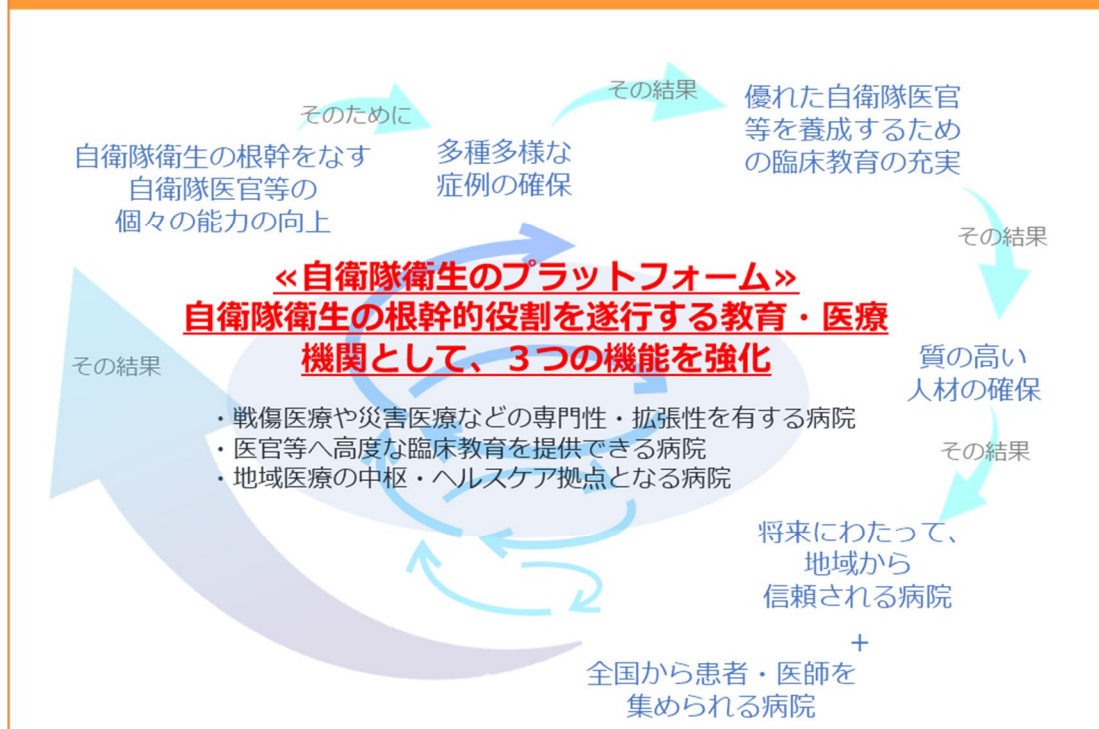
高度で安全な医療を提供しつつ自衛隊の医療・衛生活動並びに地域医療に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成する

防衛医大病院の将来コンセプト

「自衛隊衛生のプラットフォーム」
自衛隊衛生の根幹的役割を遂行する教育・医療機関として、
将来に向けて防衛医科大学校病院は3つの機能を強化



将来コンセプトを実現するための取り組み



3.2 新病院に関する事項

新病院における想定規模等は次の通りです。

	内容	備考
名称	防衛医科大学校新病院	－
建物用途	病院	－
建設予定地	防衛医科大学校病院地区内	外来駐車場を想定
想定医療規模	入院規模：600床 外来規模：1,200人程度／日	※病院全体の入院規模は800床（200床は既存施設活用）
主要医療機能	特定機能病院、第三次救急医療、災害拠点病院、ISO15189認定臨床検査室、がん診療指定病院、第1種感染症指定医療機関	－
その他期待する主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学病院・特定機能病院として求められる機能の充足 ○ 自衛隊の医官教育に資する医療機能の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療機能^{※1}の拡充 ・集中治療機能^{※2}の拡充 ・手術室機能^{※3}の拡充 ・リハビリテーション機能の拡充 ○ 周産期医療の拡充^{※4} ○ 一般と病院職員の動線の分離 ○ 患者の療養環境・受診環境の充実（病床個室率の向上、ユニバーサル外来） ○ 病院職員のアメニティ充実 	<ul style="list-style-type: none"> ※1 E-ICUの増床等 ※2 ICU/HCU等の増床等 ※3 通常の手術室の拡張、ロボット手術及びハイブリット手術への対応 ※4 NICU、GCU、MFICUの設置等

3.3 新公務員住宅に関する事項

新公務員住宅における想定規模等は次の通りです。

	内容	備考
名称	公務員住宅	－
建物用途	宿舍	－
建設予定地	防衛医科大学校病院地区内	既存公務員住宅の跡地を想定
想定規模	b規格（面積25㎡以上～55㎡未満） 110戸	住戸用駐車場
備考	既存公務員住宅の住民は、解体着手までに退去する。	－

3.4 事業スキーム等（仮説）

<病院地区 PFI 事業の業務範囲（案）>

No.	業務カテゴリー	
	大項目	中項目
1	統括 マネジメント	委託業務マネジメント
2		病院経営支援
3	運営管理 * 政令 8 業務	* 検体検査
4		* 食事の提供
5		* 清掃
6		* 医療ガスの保守点検
7		* 医療機器の管理保守点検
8		* 滅菌消毒
9		* 洗濯（リネンサプライ）
10		* 患者等の搬送
11		物品管理（SPD）、薬剤管理
12		医療作業（病院各部門の作業補助）
13		診療情報管理
14		医療事務
15		一般管理支援（事務補助、電話交換等）
16		情報システムの開発・運営・保守管理
17	調達	医療機器
18		医薬品
19		診療材料等
20	維持管理	施設維持管理（定期点検、補修 等）
21		警備、駐車場管理
22	その他	利便施設運営（売店等）
23		会議室/職員健康診断業務
24		新病院への移行（引越・開業準備）
25	施設整備	新設（※既存病院施設の機能を集約）
26		改修（※新病院へ機能移転後、用途変更のため改修）
27		解体（※新病院に機能移転後）

<宿舎地区 PFI 事業の業務範囲（案）>

No.	業務カテゴリー	
	大項目	中項目
1	施設整備	公務員住宅の新設
2		既存公務員住宅の解体
3	施設管理	公務員住宅の維持管理

(1)事業スケジュールについて

現時点の事業スケジュールとして、令和7年度に民間（PFI）事業者の公募及び選定を行い、PFI 事業契約の締結後、既存病院の運営・維持管理及び新病院・新公務員住宅の設計・建設を開始することを想定しています。

＜事業スケジュール（案）＞

（病院地区）



（宿舎地区）



【参考1】既存病院施設及び公務員住宅の現状

① 既存病院の機能特性

特定機能病院、第三次救急病院、災害拠点病院、ISO15189 認定臨床検査室、がん診療指定病院、第1種感染症指定医療機関

② 既存病院の運用状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
外来患者数	280,891	277,027	280,513	249,179	264,022
入院患者数	172,223	163,601	161,027	120,673	105,556

※ 令和 2 年度～令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に注力するため、診療制限を行っている。

③ 病院組織

診療科	内科、精神科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産科婦人科、放射線科、麻酔科、形成外科、歯科口腔外科、病理診断科
中央診療施設の部及び室	医療安全・感染対策部、検査部、手術部、放射線部、材料部、救急部（救命救急センター）、リハビリテーション部、総合臨床部、集中治療部、医療情報部、光学医療診療部、輸血・血液浄化療法部、腫瘍化学療法部、地域医療連携室（患者支援センター）、緩和ケア室、薬剤部、看護部
事務部	病院運営課、病院企画調整官

4. 参加手続き及び留意事項等

4.1 参加事業者の要件

現在検討中の P F I 事業の全部または一部に参画する意向のある法人、または、法人のグループとします。ただし、都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事・業務等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している法人は参加できません。

4.2 スケジュール

サウンディングは下表のスケジュールに沿って実施する予定です。

受付開始(HP 掲載)	7月4日(火)
申込期間	7月4日(火)～7月14日(金)正午
アンケート提出期限(アンケート回答票は参加申込者に別途配付)	7月20日(木)正午
実施日時の連絡	7月27日(木)頃
サウンディングの実施	8月上旬～中旬
結果の公表	9月上旬～中旬

4.3 参加手続き

参加を希望される事業者は申込期限までにサウンディング参加申込書(様式1)を記入の上ご提出ください。その後、参加申込者にはアンケート回答票を送付しますので期限までに回答ください。提出先のメールアドレスは4.7をご覧ください。

サウンディングの日程については7月27日(木)頃までに連絡します。ただし、申込者が多数の場合など、サウンディングの対象者を制限する場合があります。また、防衛医大側の都合で、オンラインでの実施に変更する場合があります。

4.4 サウンディングの内容

場 所：防衛医科大学校(埼玉県所沢市並木3-2)

実施時間：1事業者あたり30分～1時間程度

内 容：アンケートに沿って対話を進めます。説明用の資料を準備される場合は10部ご用意ください(資料の使用は任意です)。

4.5 留意事項

サウンディングへの参加実績は、事業者公募等における評価の対象にはなりません。また、防衛省側及び参加事業者ともに、サウンディング及びアンケートでの発言及び記載内容はその時点での想定によるものとし、今後の事業の実施等について何ら約束するものではありません。

サウンディングへの参加に要する費用は、参加事業者の負担とします。

本サウンディング終了後に、必要に応じて追加の対話(文書照会を含む)やアンケート等の実施にご協力をお願いすることがあります。

4.6 結果の公表

結果については、参加事業者の名称は伏せ、事業者のアイデア及びノウハウの保護に配慮した上で、調査概要を公表する予定です。

4.7 提出先（メールアドレス）

提出及び本件に関する質問については、下記メールアドレスをお願いします。電話での問合せはご遠慮ください。

bouidaipfi@ndmc.ac.jp

以 上